

第4回 三県知事会議の結果概要

平成24年4月20日

大澤群馬県知事、上田埼玉県知事、泉田新潟県知事は、本日の会議で、これまでの検討成果を踏まえて意見交換を行い、さらに連携を進めることで合意した。

1 合意事項

(1) 空港を活用した相互観光の推進

外国人観光客誘致に向けて、国内主要旅行業者及びJR東日本本社のインバウンド担当者等との意見交換を通じ、視察ツアー・海外現地プロモーション等の具体的なセールス方法についての検討を行った。

今後は、東京を絡めた三県周遊モデルコースの旅行商品化に向けた検討を進めるとともに、三県で開催されるイベント等における共同観光PRを引き続き実施していくこととした。

(2) 対岸貿易による産業振興の共同研究

北東アジアマーケットの開拓に向けたセミナーを熊谷市で開催したほか、中国における見本市への共同出展に向けた、出展地域・商品についての検討、三国トンネル改築要望を実施した。

今後は、対岸貿易による地域企業の活性化に向け、対岸諸国でニーズが見込まれる産業分野での販路開拓に向けた体制の整備や見本市への共同出展、新潟東港視察を兼ねたマーケット開拓セミナーの開催、次回開催に向けた経済団体との連携強化、三国トンネルの早期整備に向けた関係機関への働きかけ、を実施していくこととした。

(3) 生活サポート産業振興に関する共同研究

三県企業の販路開拓の場として、「彩の国ビジネスアリーナ2012」への共同出展のほか、共同ホームページ「生活サポート産業ネット」による医療・福祉・介護分野のニーズ情報の発信を通じ、三県企業の商品開発サポートに取り組んだ。

今後は、「健康ビジネスサミットうおぬま会議2012」をはじめとする各県開催の展示・商談会への相互参加や、生活サポート産業に関する規制緩和など個別課題の研究を進めていくこととした。

(4) 三県工業系公設試の連携による中小企業の技術開発支援の共同研究

三県で保有する試験機器等の相互利用を促進するため、共同ホームページ「RINGS」を開設したほか、機器利用の際の使用料・手数料について、相互に県内企業と同一料金化の実現に向けた検討を行ってきた。

今後は使用料・手数料の同一料金化を5月1日から実施するとともに、研究員の更なる交流の深化を通じ、共同研究への発展を目指していくこととした。

工業系公設試については三県連携の共同研究として一定の成果を上げることができたため、以降は事務レベルで研究を進めていくこととした。

また、農業食品加工分野での連携について新たに研究を進めていくこととした。

(5) 次世代自動車に関する共同研究

三県を縦断する国道17号線を、電気自動車の長距離走行モデル路線として全国に発信すべく、「群馬・埼玉・新潟 EV・PHVサミット」の開催など、電気自動車の普及促進に向けた取り組み等を行ってきた。

今後は、急速充電器設置情報の共有と情報発信のほか、関越自動車道への急速充電器の設置に向けた要請活動等を行っていくこととした。

(6) 防災協力体制の可能性の共同研究

「新潟県防災グリーンツーリズム」による自主防災組織の育成・強化に向けた取り組みを実施したほか、前回知事会議で提起された三県防災連携体制の構築について検討を進め、今回、災害時だけでなく、平時の取組に重点を置いた包括的な協定を締結する方向で、合意した。

今後は、地域防災力の向上など、従来から連携している取組をさらに充実させるとともに、首都直下地震等への対応なども想定しながら、三県防災協定（仮称）の締結に向け、引き続き検討を進めていくこととした。

2 次回は、埼玉県主催で開催する。